

加 佐

学校だより 3月修了式号

令和4年3月24日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<http://kasa.maizuru.ed.jp/>



春暖の候 保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。日頃より、本校教育にあたたかいご理解・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。



R3年度春の桜

授与式

未来を切り拓く

Changing to the Supporting Side

去る15日に、卒業証書授与式を挙行了いたしました。厳粛な中にも和やかな式場で保護者・在校生・教職員らに見送られながら第十一期卒業生が巣立ちました。本校区で培った力と自信を胸に、4月から新たなステージを迎えます。多様な自己実現を果たし、やがて彼ら一人ひとりが次代を支えて幸せに生きることを祈念し、心からのお祝いとともに送り出しました。

先輩からのyell!!

アメリカとつないで「オンライン夢講演会」を実施しました。加佐中の大先輩から頂いたメッセージには、生徒たちが未来を切り拓いていく上でのヒントがたくさんありました。現在、大学の研究職にある眞下朋之さんは旧岡田中学校の卒業生です。高校卒業を控えて、それでも「何か始めないと」と悩んだ末に単身渡ったアメリカで国や人種を超えた「人と人との出会い」に助けられ、そこで大きな転換点を迎えます。苦手なことは頑張らなくてはならないけれど、やっぱり『自分が情熱をもって取り組めるものに最も力を入れたい。自分が「できること」を最大限に伸ばせばいいんだ』と改めて決意したそうです。

講話から、加佐の豊かな自然で磨かれた五感や、興味や疑問・好奇心を大切にしてきたこと、故郷を離れたこと等も、ご自身を形づくった要素だと分かりました。世界最前線での眞下さんの活躍を支える“情熱”の源は「仮説と検証」つまり「研究のだいご味」でした。具体的には、研究プロジェクトのチームワーク、新たな発見、そして研究結果を社会に還元できること。

今回は、そうしたご自身の務め・毎日を価値ある「大切なもの」とする姿勢^{生きかた}に学びました。先輩からの熱いエールを、生徒たちはそれぞれの日常に照らして受け止めていたようです。

学びあい 認めあい 鍛えあい

本日の修了式では、With コロナ2年目となった令和3年度の堅実な生活を振り返り、心身の健康がかけがえのないものであることや、今日まで積み上げてきた校区の安心・安全について改めてかみしめました。そして、卒業生が果たしてきた様々な役割を、在校生が新学期からどのように発展させていけばよいのか知恵を絞り、新たな入学生とともに明確な展望をもち、1日の大半を過ごす学校での有意義な学びをつくる当事者となることを再確認しました。

保護者・校区の皆様方のご厚情に感謝申しあげます。新学期からも、皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申しあげます。くれぐれもお体を大切に、どうぞご自愛ください。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる